

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2021 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2161
研究開発課題名	畜産動物の廃棄骨を循環的に利用する液肥成分製造法の確立と水耕栽培への実用化
研究代表者	近畿大学 生物理工学部 教授 森本 康一

総合評価

未利用資源の有効活用技術に対応するものであるが、肥料への応用であり、スケールアップとコストダウンが何より重要である。スプラウト以外でも有効に作用するのか、他製品に対する明確な優位性が出せるのか等、今後の検証が必要となる。また、ビジネスプランに基づいた提供サービスの社会受容性にかかる検討についても今後必要となる。農業界にとって重要なリンの再利用プロセスであり、今後の進展に期待する。

以上